



令和5年度 全国学力・学習状況調査

調査結果・分析

小野市教育委員会



令和5年4月18日、小学6年生と中学3年生を対象に、国語、算数・数学、英語（中学生のみ）の学力調査及び生活状況調査が全国一斉に実施されました。今年度は4年ぶり2度目となる英語が対象となりました。以下に、本市全体における結果及び分析についてお知らせします。なお、各学校では、調査結果資料を分析し、教育実践の成果と課題を明らかにするとともに、今後の学校経営や学習指導に活かしてまいります。また、分析内容については、各校ホームページや学校だより等でお知らせします。これからも、子どもたちの『夢と希望の教育』を推進してまいります。

令和5年10月 小野市教育委員会



小野市教育行政顧問 東北大学 川島隆太教授の脳科学理論より

前頭前野を発達させるために



| | 小学校 | | 中学校 | |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|
| | 小野市 | 全国 | 小野市 | 全国 |
| 毎日、同じくらいの時刻に寝ている | 87% | 81% | 81% | 78% |
| 毎日、同じくらいの時刻に起きている | 95% | 91% | 93% | 91% |
| 朝食を毎日食べている | 96% | 94% | 94% | 91% |

◆「早寝・早起き・朝ごはん」の規則正しい生活習慣は、子どもたちの夢と希望を叶えるための大切な要因です。小野市の子どもたちが自分の夢に近づけるよう、引き続き、ご家庭でのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

自尊感情と心の成長



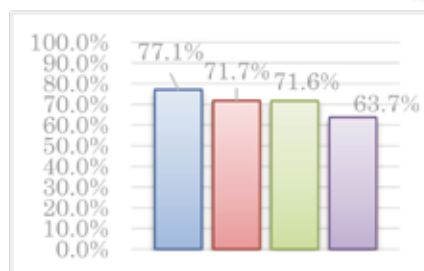
| | 小学校 | | 中学校 | |
|-------------------------|-----|-----|-----|-----|
| | 小野市 | 全国 | 小野市 | 全国 |
| 自分には良いところがある | 88% | 83% | 89% | 80% |
| 将来の夢や目標をもっている | 91% | 82% | 71% | 66% |
| いじめは、どんな理由があってもいけないと思う | 99% | 87% | 99% | 96% |
| 人が困っている時、進んで助ける | 96% | 92% | 92% | 88% |
| 人の役に立つ人間になりたい | 97% | 96% | 97% | 95% |
| 学校に行くのは楽しい | 91% | 85% | 85% | 82% |
| 先生は、あなたのよいところを認めてくれる | 93% | 90% | 93% | 87% |
| 地域の行事に参加している | 86% | 58% | 72% | 38% |
| 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う | 90% | 77% | 77% | 61% |

◆どの項目も高い割合を示しており、小野市の子どもたちは、ご家庭や地域のあたたかい関わりの中で、人を思いやる気持ちや地域を大切にすることを育っています。これからも子どもたちの健やかな成長のために、保護者・学校・地域の協力がとても大切です。

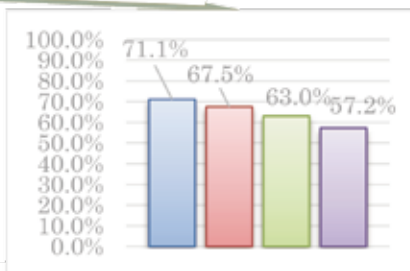
クロス集計 ～学力と生活・学習習慣～



読書は好きですか(小学校・中学校)



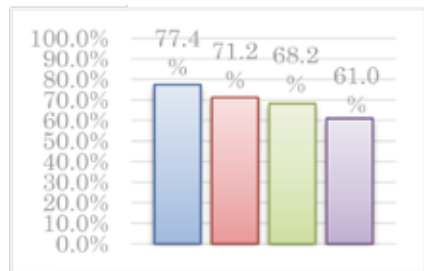
小学校国語



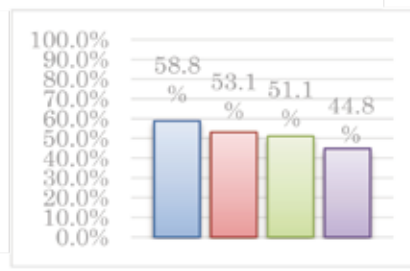
小学校算数

《縦軸》…正答率
《横軸》…左から

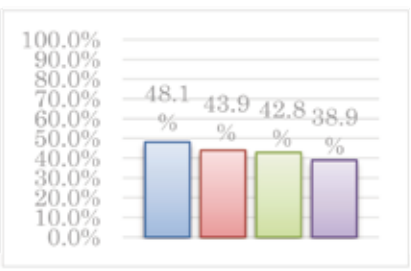
- ・当てはまる
- ・どちらかといえば当てはまる
- ・どちらかといえば当てはまらない
- ・当てはまらない



中学校国語



中学校数学



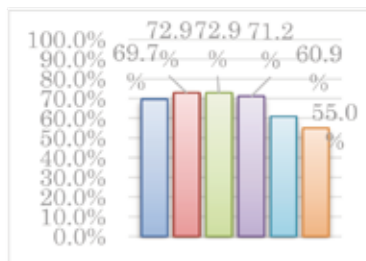
中学校英語

◆上のグラフは、階段状になっています。これは、質問項目と学力が相関関係にあることを示しています。他にも、生活・学習習慣と学力との関わりが顕著に表れていたものを下に示しています。

| 学力結果と相関関係があった生活・学習習慣（主なもの） | |
|----------------------------|---|
| 小学校 | ○先生は、よいところを認めてくれる ○国語の授業内容はよく分かる ○学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている |
| 中学校 | ○授業で学んだことを、他の学習で生かしている ○外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい ○授業で、課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいる ○国語の授業で、分かりやすく伝えるために、効果的な話し方を工夫している |
| 小・中共通 | ○読書が好きだ ○自分の考えを発表するときは、資料や文章、話の組み立てなどを工夫する ○学習内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている |

普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(中学校)

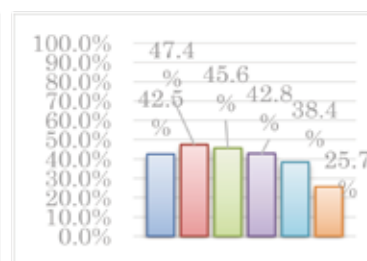
平日1日の読書時間と正答率



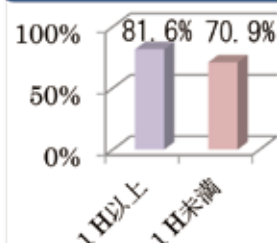
中学校国語



中学校数学



中学校英語



中学校国語

※左から ・3H以上 ・2H以上3Hより少ない ・1H以上2Hより少ない ・30分以上1Hより少ない ・30分より少ない ・全くしない

◆国語、数学、英語の正答率は、普段1日あたり「2時間から3時間程度学習する」生徒が最も高い結果でした。学習時間が短くなるにつれ正答率は下がっていますが、読書が好きだと答えた生徒、平日の読書時間が1時間以上の生徒の正答率が高いことから、東北大学川島隆太教授が言われている「睡眠・読書・家族とのコミュニケーション・学習時間等のバランスが大事」という提唱と一致します。これらのことから、継続的な読書の取組を推奨します。

学力調査 ～小野市の結果分析～



☆本年度は、国語と算数・数学、英語（中学生のみ）の3教科を実施し、『知識』と『活用』が一体的に問われる問題形式でした。具体的な内容として、漢字や計算などの基礎・基本、文章や図・グラフから情報を読み取る力、論理的に問題を解決する力、自分の意見を論ずる力等が問われました。中学校英語「話すこと」調査については、1人1台端末を用いたオンライン方式により実施されました。

| | 小学校 | | 中学校 | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 国語 | 算数 | 国語 | 数学 | 英語 |
| 小野市 | 72 | 66 | 71 | 53 | 44 |
| 兵庫県 | 67 | 64 | 69 | 52 | 47 |
| 全 国 | 67 | 63 | 70 | 51 | 46 |

学力調査による市全体の結果です。小・中学校ともに、良好または同程度という結果でした。

小学校 国 語

☆漢字は「いがい」や「きかん」の同音異義語のある出題でも、文脈から漢字を使うことができています。また、文章理解に基づいたり話し手の考えと比較したりして自分の考えをまとめる力も、年々正答率が上昇しています。

▼グラフを含めた複数の情報を用いて、自分の考えが伝わるように書き方を工夫することに課題がありました。複数の情報を関連づけ、相手に分かりやすく表現する力の育成が求められます。

小学校 算 数

☆ともなって変わる二つの数量の関係や計算などの基礎的分野において、よく理解できていました。

▼テープを切ってつくった2つの三角形の面積の大小を判断し、その理由を説明することに課題がありました。高さが同じである2つの三角形の面積について、具体的な数値が示されていないので比べることができないと判断した誤答がみられました。

中学校 国 語

☆「書くこと」に関して、聞き取ったことをもとに、目的に沿って自分の考えをまとめたり、根拠を明確にして自分の考えを書いたりすることがよくできていました。授業での学びの成果であると思われます。

▼「おしはかる」を漢字で書く問題に課題が見られました。文脈に即した漢字を書くことができるよう語彙力を増やす必要があります。

中学校 数 学

☆「文字を用いた式の計算」「整数の計算」の正答率が高く、基礎の定着が図れています。「おの検定」の継続した取組の成果が出ています。

▼複数のデータを比較して、数学的な表現を用いて説明したり、問題解決の方法を数学的に説明したりすることに課題がありました。これらの記述問題は無解答率も高く、普段から数式の意味を理解したり、説明したりする学習習慣が大切です。

中学校 英 語

☆領域別（書く・読む・聞く・話す）では、「聞くこと」について正答率が高く、授業でも積極的に英語での説明を取り入れている成果だと思われます。

▼「書くこと」「話すこと」に課題がありました。両領域において、自分の考えと理由を求められる出題であり、英語で自分の意見を伝え合う学習活動が効果的です。また、「話すこと」においては、自然な受け答えを目標にしたいものです。

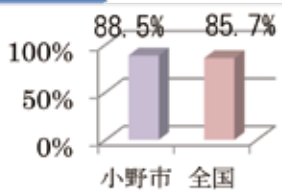
学習状況・授業づくり



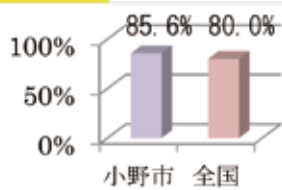
国語の授業内容はよくわかる

英語の学習は好きだ

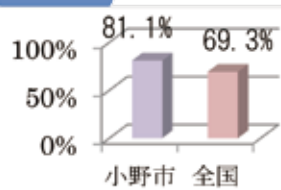
小学校



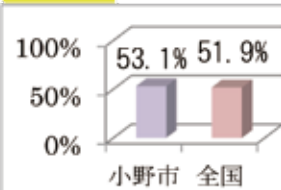
中学校



小学校



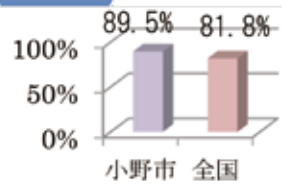
中学校



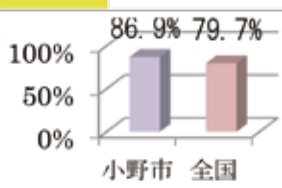
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている

授業で、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる

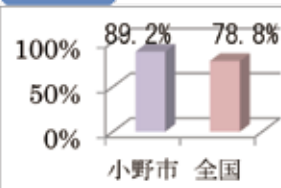
小学校



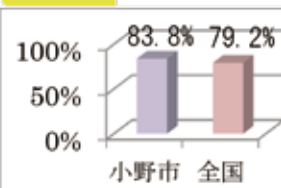
中学校



小学校



中学校



◆「授業内容はよく分かる」の項目については、国語だけでなく、算数・数学、英語においても高い数値を示していました。小学校においては、英語の学習を意欲的に取り組んでいます。また、子ども達が主体的に学び、話し合いを大切に学習活動を行っていることが分かります。これからも友達の意見を聞きながら、学び合う楽しさを味わえるような授業づくりを推進していきます。

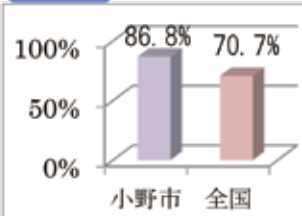


学びに向かう力・学習の習慣化

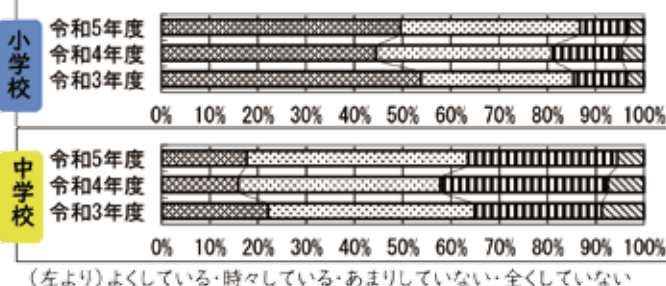
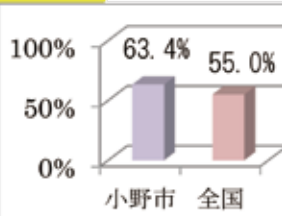
小野市の
経年比較

家で自分で計画を立てて勉強している

小学校

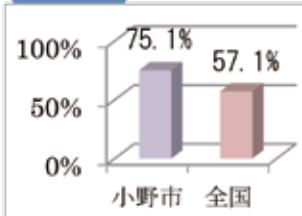


中学校

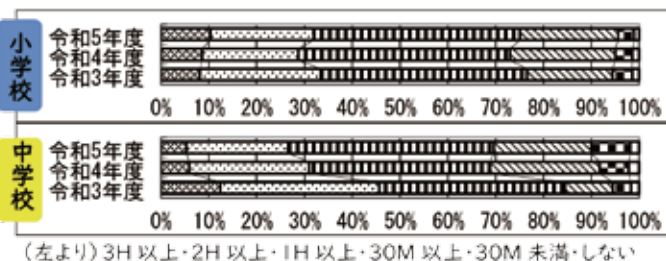
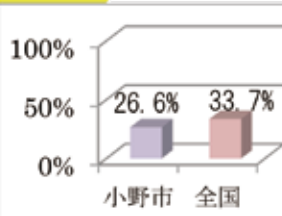


平日、小学校1時間以上（中学校2時間以上）学習（家庭学習）をする

小学校



中学校



◆概ね小学校では自分で計画を立てて勉強する習慣はできています。しかし、中学校での学習習慣の継続、家庭学習時間が課題として挙がっています。また、小野市の経年比較からも、ここ数年、中学生の家庭学習時間は減少傾向を辿っています。家庭学習のあり方について見直し、啓発をしていきます。

☆小野市では『夢と希望の教育』の推進を掲げ、児童生徒を学校・保護者・地域で育てるという視点を大切に、「学力向上」「主体的・対話的な学び」「自主・自立の育成」に努めています。これからも「もっと学びたい・もっとできるようになりたい」という子どもたちの思いを大切に、友達と学び合い、共に考えることを通して、「確かな学力」と「未来への道を切り拓く力」の育成に努めてまいります。